

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	✓ 令和 7年 11月 28日			
支払先	[Redacted]			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	賃 金	[Redacted] 11月分賃金 1,100円×115時間 1,100円×1.25×4	132, 000円
	研究研修費		[Redacted] 11月分賃金 1,100円×115.5時間	127, 050円
	調査旅費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人 員 費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計				259, 050円
(領収書添付欄)				

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	令和 7年 11月 28日			
支 払 先				
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	通 勤 費	11月分通勤費 800円×17日	13,600円
	研 究 研 修 費		11月分通勤費 400円×18日	7,200円
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 (件) 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
合 計				20,800円
(領収書添付欄)				

出勤簿

令和 7年 11月分	氏 名	
------------	-----	--

日	曜日	出 勤	退 勤	勤務時間	実勤務時間	時間外	休日出勤	年 次 有給休暇	備 考
1	土								
2	日								
3	月								
4	火	9:00	16:30	7:30	6:30				役員会、市長要望
5	水	8:30	17:00	8:30	7:30				総会、政策説明会
6	木	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
7	金	9:00	16:30	7:30	6:30				
8	土								
9	日								
10	月	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
11	火	9:00	16:30	7:30	6:30				
12	水	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
13	木	9:00	16:00	7:00	6:00				
14	金	9:00	17:30	8:30	7:30				
15	土								
16	日								
17	月	8:30	20:30	12:00	7:00	4:00			政策説明会
18	火	9:00	16:00	7:00	6:00				
19	水	9:00	16:30	7:30	6:30				委員会
20	木							6:00	
21	金	9:00	16:00	7:00	6:00				
22	土								
23	日								
24	月								
25	火	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
26	水	9:30	16:00	6:30	5:30				
27	木	8:30	17:00	8:30	7:30				役員会、本会議、総会
28	金	9:00	16:00	7:00	6:00				
29	土								
30	日								
計				130:00	109:00	4:00		6:00	119:00

上記のとおり勤務したことを証明します。

氏 名 寺沢さゆり



金 145,600 円
(うち通勤費 10,600 円)

左記金額領収致しました。
令和 7年 11月 28 日
氏 名



出勤簿

令和 7年 11月分	氏 名	
------------	-----	--

日	曜日	出 勤	退 勤	勤務時間	実勤務時間	時間外	休日出勤	年 次 有給休暇	備 考
1	土								
2	日								
3	月								
4	火	9:00	16:30	7:30	6:30				役員会、市長要望
5	水	8:30	17:00	8:30	7:30				総会、政策説明会
6	木	9:30	16:00	6:30	5:30				委員会
7	金	9:00	16:30	7:30	6:30				
8	土								
9	日								
10	月	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
11	火	9:00	16:00	7:00	6:00				
12	水	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
13	木	9:30	17:30	8:00	7:00				
14	金	9:00	16:30	7:30	6:30				
15	土								
16	日								
17	月	8:30	16:30	8:00	7:00				政策説明会
18	火	9:00	16:00	7:00	6:00				
19	水	9:00	12:00	3:00	3:00			3:00	委員会
20	木	9:00	16:30	7:30	6:30				
21	金	9:00	16:00	7:00	6:00				
22	土								
23	日								
24	月								
25	火	9:00	17:00	8:00	7:00				委員会
26	水	9:00	15:30	6:30	5:30				
27	木	8:30	17:00	8:30	7:30				役員会、本会議、総会
28	金	9:00	16:30	7:30	6:30				
29	土								
30	日								
計				129:30	112:30			03:00	115:30

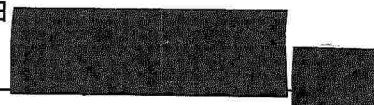
上記のとおり勤務したことを証明します。

氏 名 寺沢さゆり



金 134,250 円
(うち通勤費 7,200 円)

左記金額領収致しました。
令和7年 11月 28日
氏 名



政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	令和 7年 11月 13日			
支払先	寺沢さゆり会長 ほか15名			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	旅 費	R7.11.18)国会要望活動旅費 (JR切符代) @16,280円×16名	260,480円
	研究○修費		払戻し手数料	900円
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その○他の経費			
			合 計	261,380円

(領収書添付欄)

※当初、(若林議長を除く)17名で参加予定であったが、
(切符代金を支払い後)加藤議員が都合により参加できなくなったため、
翌14日長野駅で取り消し処理。(払戻金額15,380円、手数料900円 →別紙に添付の払戻計算書を参照)

領 収 証

新友会 様



2025年11月13日

金276,760円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

長野801 No.000031

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋 谷
税 務 署 承 認 済

領 収 証

新友会 様

2025年11月13日

金276,760円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

長野801 No.000031

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋 谷
税 務 署 承 認 済

① 16,800 x 17名

払戻計算書

商品名 : JR乗車券類 4枚

原券金額 : ¥16,280- 税10%

払戻対象額 : ¥16,280- 税10%

手数料 : ¥900- 税10%

払戻額合計 : ¥15,380- 使用開始日:2025.11.18

[現金扱い]

原券購入日:2025.11.13

東日本旅客鉄道(株)(T9011001029597)

2025.11.14 17:09 00826-01 長野駅E1発行

払戻計算書

商品名 : JR乗車券類 4枚

原券金額 : ¥16,280- 税10%

払戻対象額 : ¥16,280- 税10%

手数料 : ¥900- 税10%

払戻額合計 : ¥15,380- 使用開始日:2025.11.18

[現金扱い]

原券購入日:2025.11.13

東日本旅客鉄道(株)(T9011001029597)

2025.11.14 17:09 00826-01 長野駅E1発行



政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	令和 7年 11月 17日			
支 払 先	寺沢さゆり会長 ほかに15名			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	旅 費	R7.11.18)国会要望活動旅費	45,000円
	研 究 〇 修 費			
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
			合 計	45,000円
(領収書添付欄)				
※市川議員は都合により午前中のみ参加(日当は支給せず)				

令和7年度

集 合 支 払 内 訳 書

	事 由	氏 名	旅費受領額 (円)	支払日
1	国への要望活動 (令和7年11月18日)	青木 敏明	19,280	11月17日
2	〃	市川 和彦	16,280	11月17日
3	〃	金沢 敦志	19,280	11月17日
4	〃	北沢 哲也	19,280	11月17日
5	〃	小泉 栄正	19,280	11月17日
6	〃	桜井 篤	19,280	11月17日
7	〃	手塚 秀樹	19,280	11月17日
8	〃	寺沢さゆり	19,280	11月17日
9	〃	西沢 利一	19,280	11月17日
10	〃	西脇かおる	19,280	11月17日
11	〃	箱山 正一	19,280	11月17日
12	〃	松田 光平	19,280	11月17日
13	〃	宮崎 治夫	19,280	11月17日
14	〃	本木 晋	19,280	11月17日
15	〃	山岸 晃	19,280	11月17日
16	〃	和田 一成	19,280	11月17日

全16名

合 計 305,480

※JR交通費@16,280円+日当@3,000円

※市川議員は都合により午前中のみ参加(日当支給ナシ)

※若林議員は議長公務により参加せず／加藤議員は都合により不参加

新友会 政務活動行政視察(No.1)

東京都
(国への要望活動) () ()

令和7年11月18日(火) 日帰り

<閑散期:11/18>

旅 費 額 明 細

鉄 道 船 賃	行 先	自 長野	經由	經由	經由	經由	至 東京	運 賃	グリーン料金	
	路 程	222.4 km	km	km	km	km	222.4 km	4,070 円	0 円	
	急行 料金	特別職	4,070 円	円	円	円	円	計 4,070 円	小計 特	8,140 円
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円
	行 先	自 東京	經由	經由	經由	經由	至 長野	運 賃	グリーン料金	
	路 程	222.4 km	km	km	km	km	222.4 km	4,070 円	0 円	
	急行 料金	特別職	4,070 円	円	円	円	円	計 4,070 円	小計 特	8,140 円
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円
	行 先	自	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金	
	路 程	km	km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
	急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円
	行 先	自	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金	
	路 程	km	km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
	急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円
		一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円
	行 先	自	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金	
	路 程	km	km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行 先	自	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金		
路 程	km	km	km	km	km	0.0 km	円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
行 先	自	經由	經由	經由	經由	至	運 賃	グリーン料金		
路 程	km	km	km	km	km	0.0 km	円	0 円		
急行 料金	特別職	円	円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G 円	G 円	G 円	G 円	G 円	円	—	円	
								計 特	16,280	
								—	0 円	
車 賃	自 至	円	自 至	円	計		円			
	自 至	円	自 至	円	計		0 円			
航 空 賃	自 至	円	自 至	円	計		円			
	自 至	円	自 至	円	計		0 円			
日 当	定額1日	3,000 円	1.0 日	計 特		3,000 円				
	定額1日	円	日	計		— 0 円				
宿 泊 料	県内・県外	定額・指定1夜	円	夜	計 特		0 円			
	県内・県外	定額・指定1夜	円	夜	計		— 0 円			
食 卓 料										
備 考	☐ 宿泊料は、一夜 定額14,800円(特別職)を上限とする実費。 ☐ 高級旅費(条例第22条) ☐ 調整(条例第24条第4号適用)							合計		
								特別職		
								19,280 円		
								一般職		
							円			
							会計課予備審査処理欄			

新友会

令和7年度

国への要望活動

2025年11月18日(日)

時 間	内 容	
8:10	長野駅発	かがやき502号
9:32	東京駅着	
	(移 動)	
10:30	要望活動	農林水産省
11:30	要望活動	文部科学省
12:00	昼 食	
13:30	要望活動	国土交通省
14:00		
14:30		
15:00		
15:30		
16:00		
	(移 動)	
17:00 ～19:00	懇親会	
	(移 動)	
20:12	東京駅発	
21:47	長野駅着	はくたか577号

<参加者> 全16名

※若林議長、加藤議員を除く

行政視察報告書 (No.1)

令和 7年 11月 27日

代表者 寺沢 さゆり様

報告者氏名 (代表) 青木 敏明

次のとおり、視察をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1. 視察者氏名

寺沢 さゆり	西沢 利一	小泉 栄正	宮崎 治夫
市川 和彦	松田 光平	手塚 秀樹	北沢 哲也
金沢 敦志	和田 一成	櫻井 篤	箱山 正一
西脇 かおる	加藤 英雄	本木 晋	山岸 晃
青木 敏明			

2. 視察期間

令和 7年 11月 18日 ～ 令和 7年 11月 18日

3. 視察先・視察事項・選定理由

視 察 日 時	視 察 先	視 察 事 項 及 び 選 定 理 由
7年11月18日 10時00分～10時40分	農林水産省 地下1階会議室	若林健太前衆議院議員（打合せ、情報交換）
7年11月18日 10時45分～11時00分	農水省 大臣室 鈴木憲和大臣	①鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額要望 ②地域計画を実現させる「農業情報連携プラットフォーム構築事業」に対する支援について
7年11月18日 11時40分～11時55分	文部科学省 小林 茂樹副大臣	・校内教育支援センター支援員配置に関する補助金の活用について

7 年 11 月 18 日 13 時 00 分～13 時 15 分	国土交通省 塩見英之審議官	国土交通書への要望項目全 10 項目の要望書提出 ※項目 1.6.10.を説明
7 年 11 月 18 日 13 時 30 分～14 時 00 分	施設見学	第一生命日比谷ファースト GHQ マッカーサールーム
7 年 11 月 18 日 14 時 30 分～14 時 40 分	国土交通省 市街地整備課 都市局公園緑地課	・中央通り歩行者優先道路化事業への支援 ・北長野地区の再整備に対する支援について ・第 82 回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援について
7 年 11 月 18 日 14 時 50 分～15 時 00 分	国土交通省 住宅局	・長野駅前 B-1 地区市街地再開発事業への支援について ・既存公営住宅の長寿命化等に対する支援について
7 年 11 月 18 日 15 時 10 分～15 時 20 分	国土交通省 総合政策局 国土政策局	・第一次国土強靱化実施計画に示された施策への十分な予算確保について
7 年 11 月 18 日 16 時 10 分～16 時 20 分	国土交通省 道路局	・一般国道 18 号線長野東バイパスの立体化整備の促進について

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 青木 敏明

※視察参加者必須

視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
11月18日 国への要望活動 農林水産省 鈴木憲和大臣	①鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額要望 ②地域計画を実現させる「農業情報連携プラットフォーム構築事業」に対する支援について 近年の鳥獣被害について意見交換。熊の出没被害増も深刻。捕獲補助金の増額については取り組む。 「農業情報連携プラットフォーム構築事業」は素晴らしい取り組み。予算化して支援しますと約束。長野市への視察も行いたいとのこと。
文部科学省 小林茂樹副大臣	●校内教育支援センター支援員配置に関する補助金の活用について 国が示す支援員配置に関する補助金の使い方と、本市の使い方は一致しているが、長野県がOKを出さない。副大臣も必要性を認識。待ったなしの状況であるので、検討を要望。
国土交通省 塩見審議官	国土交通書への要望項目全10項目の要望書提出 1. 都市計画道路の整備に対する支援について 2. 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了について 3. 上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援拡充について 上記3重点項目について要望。1. 2については、最大限の予算確保に努めるとのこと。3については、主要管路の更新を優先する。
国土交通省 都市整備局	●中央通り歩行者優先道路化事業への支援 ●北長野地区の再整備に対する支援について ●第82回国民スポーツ大会の施設整備にたいする継続支援について いずれの要望項目も継続事業であるので、継続支援をする。特に北長野地区と国民スポーツ大会施設整備についてはプレ大会に間に合うよう予算確保する。

国土交通省 住宅局	●長野駅前 B-1 地区市街地再開発事業への支援について ●既存公営住宅の長寿命化等に対する支援について 駅前 B-1 地区市街地再開発事業は継続事業、引き続き支援。 公営住宅の長寿命化への予算的支援は、全国的にみても要望の多い事業であるため、限られた予算の中で十分な予算配分は難しいが、直接このように要望活動を受けているので頑張る。
総合政策局	●第一次国土強靱化実施計画に示された施策への十分な予算確保について
道路局	●一般国道 18 号線長野東バイパスの立体化整備の促進について <補足> 上記 2 項目については、要望スペースが狭く、実際に話を聞けなかった ので、面談者の報告を参照されたい。ただし、要望には真摯に対応する 旨の発言が各担当官よりあったとのこと。

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 山岸 晃

※視察参加者必須

月 日	視 察 先	視察結果（参考となった事項、課題、考察等）
11月18日 国への要望 活動	農林水産省	「鳥獣被害防止総合政策交付金」の増額、地域計画を実現させる「農業情報連携プラットフォーム構築事業」に対する支援について、要望を行った。 鈴木農水大臣に直接要望を行った。 話の中では、JAグリーンながの組合長であった神農会長が全国農業協同組合中央会の現状ただ一人の会長候補となる事にも触れ、前向きな意見をいただいた。 特に農業情報連携プラットフォーム構築事業については「市が独自財源で頑張っているのだから、国が支援しなければどこが支援するのか」と力強い回答をいただき、さらには農林部の並々ならぬ熱意に感銘を受けた様子で、「どうしてこんなに一生懸命なのか」と尋ねられた。「市の職員を元気づけられることはどんな事だろうか」と、発言をいただき、最終的には「長野市に激励に伺わせていただく」とも発言され、好印象での退出となった。
	文部科学省	文部科学副大臣小林茂樹氏に要望を行った。不登校の子ども対策支援について要望を行った。回答としては、「校内教育支援や、校外教育支援センターの用意は意義深い。継続して行ってほしい」とのこと。 県への不登校の支援要請もあるがなかなか実現されない、という話も行ったが、逆に「県とよく連携し、どういった方策で子どもたちに寄り添っていくかを模索してほしい」とのこと。日本有数の教育県であり、オリンピックの資産等、文化的な素地があるという所にも触れ、「学校に行かなくてもいいのか、それともどこかの段階で学校に戻るようになるのか、どういう舵取りをするのかを検討してほしい」とのお話。実際、様々なケースでの子どもたちの受け皿を用意した結果、どういう対応を国に求めているか、詰め切れなかったことは課題だったと思われる。 一方、教育支援センターSaSaLAND について水を向けていただいて、一定の評価を受けていることを伺った。

	国土交通省	国土交通審議官の塩見英之氏へ全10項目の要望活動を行い、特に都市計画道路整備、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了についての要望を行った。 同氏は2019年東日本豪雨災害の際、長野の担当者であったこともあり、意欲的に取り組んでいく旨のお話をいただいた。 会場を移して、都市局にて市街地整備課企画専門官、同防災拠点企画係長、公園緑地、景観課公園利用推進官、同係長へ要望を行った。 内容は中央通り歩行者優先道路化事業への支援、北長野地区の再整備に対する継続支援、第82回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援についてであった。 積極的に配分をしたい、という回答をいただきながらも、一方で要望が多いため希望額を出せるかは未確定とのお話であった。 国土政策局へ向かい、第一次国土強靱化実施中期計画に示された施策への十分な予算確保について要望を行ったが、これもまた国交省としても予算化に努めていく、という一言をいただいた。 最後は道路局へ向かったが、ロビーに飾られていた全国の新地域名ナンバープレートの啓発デザインを見て、とても地域色がよく表れたナンバープレート群であったため、長野でも作れないか、作るならどういったデザインが良いかなど考えた。
--	-------	--

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 和田 一成

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
令和 7 年 11月18日 国 へ の 要 望 活動	農林水産省	【 要望活動 】 鈴木 憲和農林水産大臣に対し、「要望書」(鳥獣被害防止総合対策交付金(捕獲補助金)の増額要望について)をお渡し
		してお願いした。説明は箱山経済文教部会長が行う。補助説明者と
		して待機する。
		・ 現在の農水産物の被害状況、令和 6 年度は 94 百万円の被害額を
		説明、捕獲鳥獣に対する国庫補助の増額を要望、長野市の独自の
		補助額の規模について大臣も関心を示された。長野市においては、
		令和 6 年度 3,623 頭の捕獲頭数中、ニホンジカが 51%、イノシシ
		が 20%、カラスも含めたその他(ハクビシン、タヌキ、アナグマ)
		が 27%、ニホンザルが 2%の現状である。
		・ 本年度、特徴的なクマ被害の状況については、私から説明した。
		長野市の 10 月のクマ出没・目撃数は 66 件と昨年の 6 件を大幅に
		上回り、また、県内のクマによる人身被害は本年 15 件、うち 1 件
		が長野市内であったとお話する。鈴木大臣からは、国を挙げて重
		点的対策を講ずるとのこと。
		・ 次に、同じく「要望書」(地域計画を実現させる「農業情報連携
		プラットフォーム構築事業」に対する支援について)の内容につい
		て、箱山議員から説明する。長野市独自の農業支援施策であり、全
		国でも、先進的なモデルプランとしての取組みに支援を要請した。
		私からは、当初予算 1,980 万円のうち、1,000 万円を農水省「農山
		漁村振興交付金」の申請で賄いたい旨をお願いする。

月 日	視 察 先	視察結果（参考となった事項、考察）
	文部科学省	・鈴木大臣からは、先進的取組みを評価いただき、長野市の農政に
		対する熱量の大きさに感心され、その要因について尋ねられた。
		職員の意識の高さや、中山間地域支援の想い、各地域を代表する
		議員が一丸となっていること等お伝えした。改めて、有力な施策
		として検討を進めるよう、事務方に指示されると共に、長野市訪問
		の可能性についても言及されるなど、終始、期待を抱かせる陳情で
		あった。
		【 要望活動 】小林 茂樹文部科学副大臣に要望書(校内教育支援セ
		ンター支援員配置に関わる補助金の活用について)を手交し、要望
		した。箱山議員が説明する。
		・長野市では不登校の低年齢化(小学校)に伴い、市立小学校の校内
		教育支援センターに支援員の配置拡充を進めているが、長野県では
		主に中学校に限定して、交付対象を定めており、長野市としては、
		国の補助金の大部分を活用できない状況にある。
		・県に対して、長野市は松本市を含む 12 市の教育長連名により、
		支援員配置校の校種は小学校を含める対応の検討を求める要望書
		を出しているところであることも、説明に加えた。
		・以上のことより、長野県の予算措置がなくとも、市町村が行う事
		業費に対して、国の補助を受けられる仕組みの構築をお願いした。
		・小林副大臣からは、不登校児童生徒の学びの場の確保は重要であ
		ると共に、学校へ行かなくてもいい体制の構築も必要である。先ず

月 日	視 察 先	視察結果（参考となった事項、考察）
		は効果の検証を進めて行く。長野市には地方の雄として頑張っても
		らいたいと激励を頂いた。
		・私からは、不登校が不就学、不就労、引きこもりへと負の連鎖を、
		断ち切るためにも、国から直接自治体支援を行っていただくよう強
		くお願いを重ねた。
	国土交通省	【要望活動】塩見 英之国土交通審議官に対し、「要望書」（都市計
		画道路の整備に対する支援について）（信濃川水系緊急治水対策プロ
		ジェクトの早期完了について）（上下水道施設の老朽化対策や地震対
		策に対する支援の拡充について）を手交して要望した。説明は、建
		設企業部会長の桜井議員が行う。
		・塩見審議官からは、本予算・補正予算を含め出来るだけ公共事業
		予算を確保して行く。治水も重要性は理解しており、スピード感を
		持って行きたい。水道事業も要望の趣旨は理解できる。今後しっか
		り進めていきたい。等の回答をいただいた。
		・国土交通省へは継続要望として、他 7 項目の要望書も各部局に、
		手交して説明を行い、十分かつ速やかな予算配分をお願いする。
		・今回、大臣・副大臣・審議官を含め国に対し、しっかりと地域の
		生の声を伝えられたと思う。また、各地区の代表市会議員が多い新
		友会だけに、適宜、適切なコメントを添えることができ、大変意義
		ある国への要望活動になったものと感じている。

行政視察報告書 (No.2)

(視察参加者必須)

報告者氏名 小泉 栄正

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
11月18日 (火)	要望先： 農林水産省	要望先対応者 農林水産大臣 鈴木 憲和 様 農林水産省大臣室において、鈴木農林水産大臣と面会し、次の件について要望を行った。 1. 地域計画を実現させる「農業情報連携プラットフォーム構築事業」に対する支援について 長野市では33地区で地域計画を策定し地域農業の維持・発展に取り組んでいる。この取り組みを効果的に推進するため国の支援をお願いしたい。特に「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート」などの補助金、関連支援策のお願いをした。(農業情報連携プラットフォームの構築支援は、農業データを一元的に収集・共有・活用できる基盤(代表例：WAGRI)を整備し、農業者・企業・研究機関が連携してスマート農業を推進する取り組み。) 大臣からは、長野市の積極的取り組みについて熱い応援をいただいた。 2. 鳥獣被害防止総合対策交付金(捕獲補助金)の増額要望について 本市では国庫補助事業を活用して野生鳥獣対策に取り組んでいるが、依然として野生鳥獣による農業被害は依然として深刻な状況である。市では独自に補助事業に上乗せしているが限界がある。鳥獣被害防止を進めるため、鳥獣被害防止総合対策交付金単価の増額をお願いしたい。 大臣からは国の状況全国の状況等説明があり、要望内容に理解を示された。 今回は特にクマ出没が話題になり、今後の対策の重要性等についても話された。

	文部科学省	要望先対応者 文部科学副大臣 小林茂樹 様 文部科学省文部科学副大臣室において、文部科学副大臣小林茂樹副大臣に面会し、次の件について要望を行った。 1. 校内教育支援センター支援員配置に関わる補助金の活用について 教育支援体制整備事業費補助金は令和8年度では概算要求で2,000校から5,000校に補助拡充が要望されている。長野市不登校の低年齢化、不登校への早期対応の重要性を認識し、校内教育支援センターへの支援員拡充を進めている。しかし県の対応の違いから国の補助が受けられない。市の行う事業に国の補助が受けられるよう制度を改正されたいと要望を行った。 ●要望内容については、理解を示された。 ●県との調整をとのことも言われた。
	国土交通省	要望先対応者 国土交通審議官 塩見 英之 様 国土交通省国土交通審議官室において、国土交通審議官塩見英之審議官に面会し、次の件について要望を行った。 1.都市計画道路の整備に対する支援（社会資本整備総合交付金事業）について 2.長野駅前B-1地区市街地再開発事業への支援について 3.中央通り歩行者優先道路化事業への支援（善光寺表参道地区都市構造再編集中支援事業）について 4.一般国道18号長野東バイパスの立体化整備の促進について 5.第1次国土強靱化実施中期計画に示された施策への十分な予算確保について 6.信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの早期完了について 7.既存公営住宅の長寿命化等に対する支援について 8.北長野地区の再整備に対する継続支援について（都市構造再編事業） 9.第82回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援について（社会資本総合整備事業） 10.上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援の拡充について2.市街地再開発事業に呈する支援について

		以上 10 項目について要望書を提出し、特に重要な項目 1. 6. 10. について詳しく説明し支援を要望した。 都市計画道路の整備については川中島幹線、山王小柴見線、七瀬居町線、北部幹線 4 路線の計画通り進捗のため補助金要望 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについては、その重要性も理解していただいております、国と市二人三脚で進めていくとし、また、地元の協力なくてはできない事業なので協力を要請された。 上下水道施設の老朽管対策や地震対策に対する支援の拡充については、喫緊の課題であるが、補助対象外管路が大半であり、後進の財源が厳しい、対象管路の拡大をお願いした。 理由如何等で補助できるよう検討するとのことであった。 国土交通省に対する要望については、審議官への要望終了後、各担当部局へ要望に出向きそれぞれの項目について詳細に要望を行った。 国土交通省 都市局 市街地整備課 企画専門官 高橋 陽平 様 市街地整備課 防災拠点企画係長 斎藤 正樹 様 公園緑地・景観課 公園利用推進官 下出 大介 様 公園緑地・景観課 係長 新海 友騎 様 要望項目 3. 8. 9 について要望した。 3. 中央通り歩行者優先道路化事業への支援については、善光寺表参道を軸とした賑わいのあるまちづくりの実現のため支援をお願いした。 ●新規採択に向けて、準備をしているとのことであった。 8. 北長野地区の再整備に対する継続支援については、継続事業で実施している事業であり、北長野地区の活性化、防災機能の充実を図る再整備である。継続して支援をお願いしたい。 ●予算確保が大切とのこと 9. 第 82 回国民スポーツ大会の施設整備に対する継続支援については、南長野運動公園に整備中のフットボール場整備について十分な予算配当を要望した。 ●理解を示され、要望を聞き置かれた。
--	--	---

		国土交通省 住宅局 市街地建築課 課長 田中 政幸 様 住宅総合整備課 課長 勝又 賢人 様 要望項目 2. 7. について要望した 2. 長野駅前 B・1 地区市街地再開発事業への支援については、善光寺表参道入口の顔づくり、賑わいの創出、安全安心のまちづくりのため、市街地再開発事業が円滑に進むよう支援をお願いした。 ●予算が厳しい中ではあるが、要望に沿うよう努めるとの回答があった。 7. 既存公営住宅の長寿命化等に対する支援については、事業が計画に従って円滑に進むよう社会資本整備総合交付金の十分な予算配当をお願いしたい。 ●全国から要望が多いとのことであった。 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 調査官 和田 紘希 様 国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土政策企画官 長尾 亮太 様 要望項目 5. について要望した。 5. 第 1 次国土強靱化実施中期計画に示された施策への十分な予算確保については「防災・減災、国土強靱化のための 5 ケ年加速化対策」は確実に効果が発揮されている。今後も必要な予算を確保し国土強靱化を進められたいと要望した。 国土交通省 道路局 国道・技術課 課長 西川 昌宏 様 要望項目 4. について要望した。 4. 一般国道 18 号長野東バイパスの立体化整備の促進については、引き続きの要望であるが、慢性的渋滞が発生しており、抜本的渋滞対策が必要である。整備の促進をお願いしたい。 ●状況については理解をしていただいた
--	--	---

	第一生命日比谷ファースト	第一生命日比谷ファーストに保存されている、GHQ マッカーサールームを見学した。 東京・日比谷の第一生命ビルに設けられた、連合国軍総司令官ダグラス・マッカーサー元帥の執務室（現在は「マッカーサー記念室」として保存）で戦後占領期の象徴的な空間で、日本国憲法草案の検討など歴史的な場面が展開された場所である。 第一生命ビルは昭和 13 年（1938）に建設。戦時中は陸軍東部軍管区司令部が置かれていた。 終戦後の昭和 20 年（1945）、GHQ に接收され、マッカーサー元帥の執務室となった。 昭和 27 年（1952）に日本へ返還され、その後も「マッカーサー記念室」として保存し、当時の調度品や内装が残される。 国の歴史をどう継承するか を考える象徴的な場の一つであると思う。
--	---------------------	--